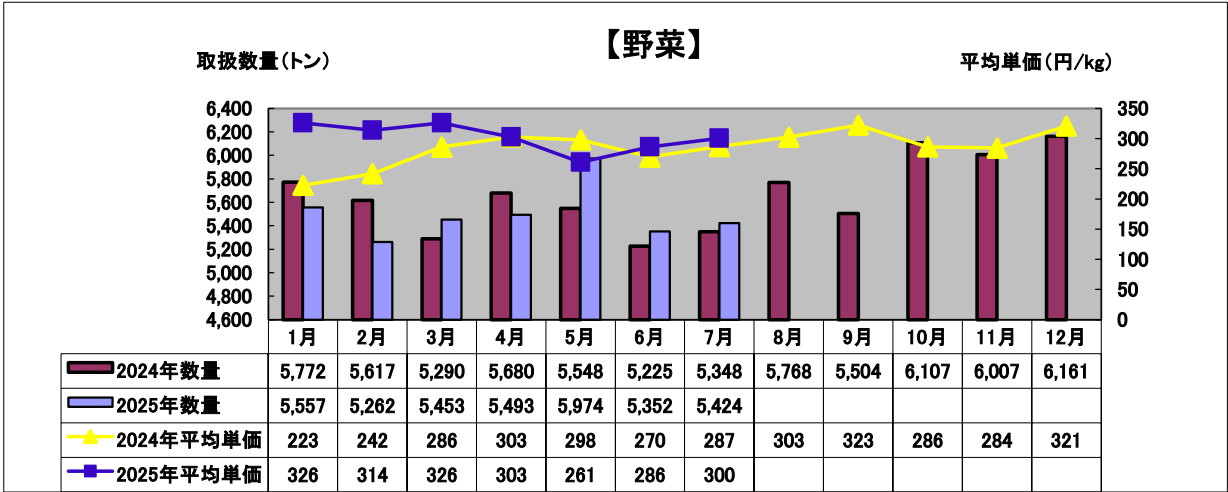
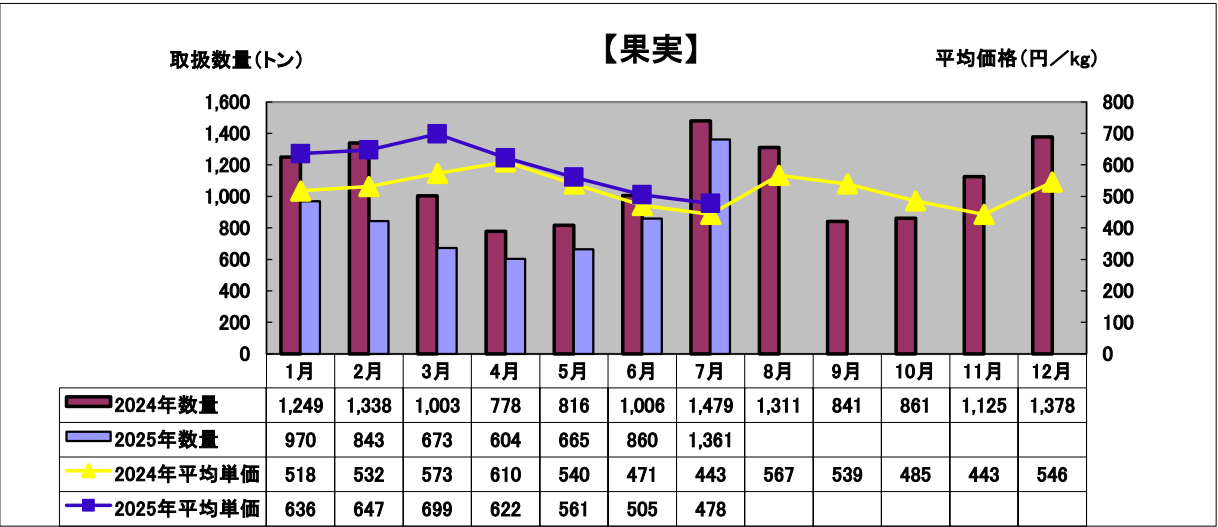


令和7年(2025年)7月 青果部種類別市況



猛暑の影響により、生産地での生育不良・品質不良が見られ、高単価であった前年を上回る価格での推移となりました。関東・東北・北海道産の品目が中旬以降に順調な出荷となり、数量も前年を上回る結果となりました。数量は平年並み、平均単価はやや高くなりました。

前年比数量 101%、平均単価 105%で終了しました。



全般に生育が前年より3～4日遅れであったり、全国的に干ばつ傾向のため小玉傾向であることもあり、総体として入荷量が減少となりました。数量はやや減少、平均単価はやや高くなりました。

前年比数量 92%、平均単価 108%で終了しました。